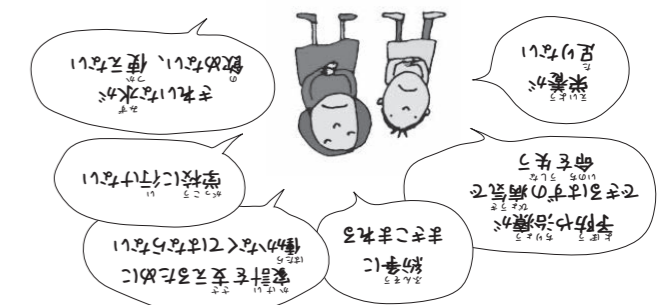


●活動の基本は、「子どもの権利条約」です。条約の4つの原則は、「命を守られ、成長できること」、「子どもにとって最もよいことが考えられること」、「意見を表明し参加できること」、「差別のないこと」。子どもの権利を実現し、すべての子どもたちが、生まれもった可能性を十分に伸ばして成長できるようにすることがユニセフの使命です。

●ユニセフは、その国の政府や人びとと協力して活動します。●地域の人びとが、自分たちの力で子どもたちを育てられるようになるための「自立」や、病気の「予防」の活動を大切にしています。



ユニセフ(国際連合児童基金)は、みなさんから寄せられた募金で、世界の子どもの命と健康と未来を守るために活動している国連の機関です。

ユニセフってなあに？

UNICEF (United Nations Children's Fund) 国際連合児童基金

ユニセフ手帳

2022年12月版

ホームページ:
www.unicef.or.jp

公益財団法人 日本ユニセフ協会
〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス
TEL 03-5789-2014 FAX 03-5789-2034
Eメール: se-jcu@unicef.or.jp
募金口座◎郵便局(ゆうちょ銀行):
00190-5-31000(払込手数料免除 ※窓口振込みのみ)



●定期的な身長・体重測定で栄養不良の子どもを早く見つけ続ける。
●栄養治療センターを作ったり栄養治療食を届けたりする。
●ピタミアなど子どもにも不可欠な栄養素を補給する。
●保護者に栄養の知識を広め、子どもが適切な栄養をとれるようにする。

世界は栄養不良の子ども5人に1人は、栄養が足りず、身体や脳の成長に影響が出ています。紛争や気候変動の影響により食糧不足が起こり、重度の栄養不良になる子どもも多くなります。栄養不良によって病気になる子どもがなり、病気がひどくなったりします。また、幼いころの栄養不良が将来にわたって影響をおかすこともあります。

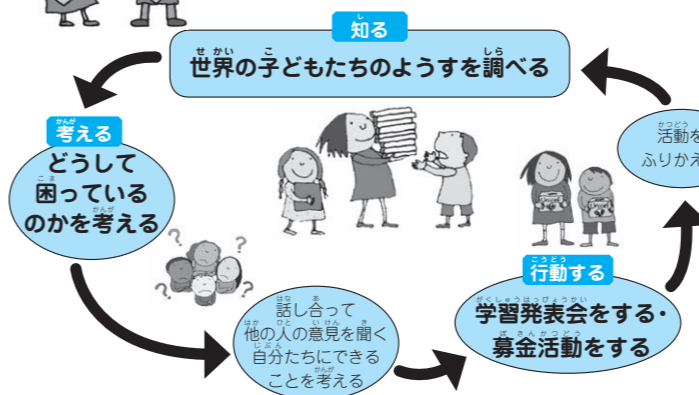
2 栄養

●保健センターをこくる
●予防接種をする
●母乳で赤ちゃんを育てることを広める
●母親で赤ちゃんを育てることを広める
●アゴアを防ぐ
●井戸や水場から離れた所にトイレをこくり、右管理ができるようにする
●村の人びとと一緒に井戸や水道設備をつくる
●村の人びとが自分たちで井戸や給水所の修理やメンテナンスをこくり、将来、役に立つ技術を身にこけられるようにする
●子どもを兵士にしないように働きかける。
●車や武装勢力から解放された子どもたちのためにリハビリセンターをこくる。

1 保健

子どもの命と健康を守る

わたしたちにできること



ユニセフや世界の子どもたちのことをインターネットで調べてみよう！

子どもと先生の広場 検索

www.unicef.or.jp/kodomo/

※この手帳にのっているいろいろなことが調べられるよ
※いろいろなムービーが見られるよ
※パンフレットや資料があるよ
※SDGsや「子どもの権利条約」を学べるよ

わたしにできることは

イラスト協力: 牛嶋浩美

●学校をつくる。
●教科書と学習用品を届ける。
●先生を育てる。
●親に教育の大切さを伝える。

学校に行けない子どもたちが、世界中で約5,900万人います。読み書きや計算ができないと、自分がかしたい仕事や収入のよい仕事にこくこともできず、真し暮らしからなかなか抜け出せません。

4 教育

世界では、約1億2,200万人の人びとが地や川の(汚濁水)をそのま未使っています。汚染した川から飲んでる水も汚れていて、そのために多くの子どもたちが、けりなどの病気にかかっています。また、約4億9,400万人の人びとが、運ばたや車むらなと屋外で用を足しています。

●学校に行けない理由
●学校が近くにない
●教科書や学習用品が足りない
●水やトイレがない
●学校に行く時間がない
●働かなくて生きていけない
●男女別のトイレがない
●女子から

3 水と衛生

すべての人に安全な水と衛生的な生活を

わたしたちがつくる、持続可能な世界



2015年に世界の目標になった「SDGs(持続可能な開発目標)」貧困や不平等、紛争、気候変動、感染症など、わたしたちの世界はいま、多くの難しい課題に直面しています。SDGsは、その課題を整理して、わたしたちがみんなで達成すべき17個の目標として示しています。ユニセフの活動もSDGsの多くの目標と深い関係があります。

SDGsでは、子どもたちも変化を起こす主役とされています。どんな課題があるのかを学び、その解決のために何ができるか、ユニセフと一緒に考えてみてください。

SDGsについて
くわしく知りたい人は www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/

【データ出典】
保健: UNICEF, Levels and Trends in Child Mortality 2020
栄養: UNICEF, WHO and the World Bank Group, Joint child malnutrition estimates - Levels and trends (2021 edition)
水と衛生: WHO/UNICEF JMP (2020)
教育: UNESCO Institute for Statistics, Fact Sheet No.56, 2019
保護: UNICEF/ILO, Child Labour Global Estimates 2020, Trends and the Road Forward
緊急支援: UNICEF Humanitarian Action for Children 2023

●各地のユニセフ物資センターから、世界中のどこへもテント、薬、衛生用品など、必要な支援物資を届ける。
●学校ができるだけ早く再開させる。
●難民/避難民キャンプで、子どもに予防接種や経口補水療法をこけて病気を予防、治療したり、安全な水やトイレを確保したり、働くついでに心を癒したりする活動を行う。

ユニセフは、2023年に1億1,030万人の子どもたちへの人道支援を計画してこまっかっている。紛争、地震や洪水などの自然災害、新型コロナウイルスなどの感染症の流行も世界中で起きています。気候変動により干ばつが起こり、厳しい食糧不足が起きてきている地域もあります。

6 緊急支援

●仕事をしながらでも通える学校をつくる。
●職業訓練センターをこくり、将来、役に立つ技術を身にこけられるようにする。
●子どもを兵士にしないように働きかける。
●車や武装勢力から解放された子どもたちのためにリハビリセンターをこくる。

世界には、家族の生活を支えるために働かなくてはならない子どもが大勢います。特に危険で厳しい仕事をさせられている子どもは約7,900万人もいます。また、紛争に巻き込まれて、子ども兵士にさせられている子どももいます。

5 保護

特に厳しい状況にある子どもたちを守る

みなさんの募金で届けられるものの例

たとえば100円で

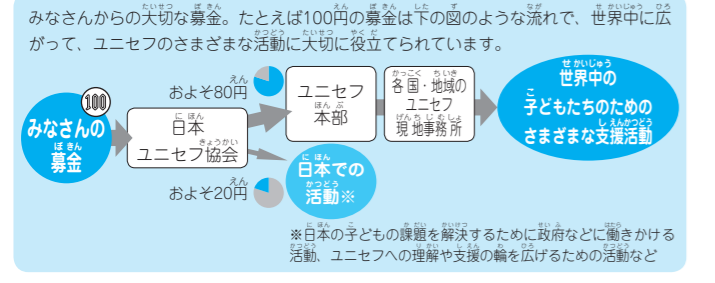
- 2袋分 重度の栄養不良からの回復に役立つ栄養治療食
- 50錠分 免疫力を高め、病気がかりにくくするビタミンAカプセル
- 263錠分 1錠で4~5Lの水をきれいにできる浄水剤

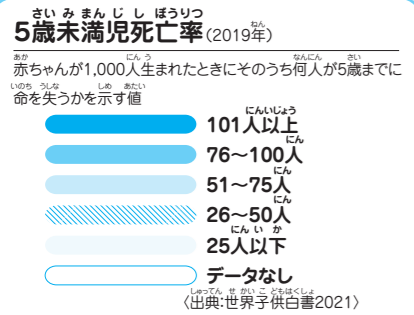
100円がたくさんあつまると

- 子どもを寒さから守る大きいサイズの毛布 1枚 662円
- マラリアを予防するための防虫効果が長続きする蚊帳 3張 765円
- 「箱の中の学校」(子ども40人と先生1人用)緊急時にも教室を開ける学用品と教材のセット 1セット 24,129円
- 仮設教室、病院、シェルターなどにできる大型のテント 1張 301,300円

2022年12月現在の価格(1米ドル131円で計算)

ユニセフ募金100円の旅



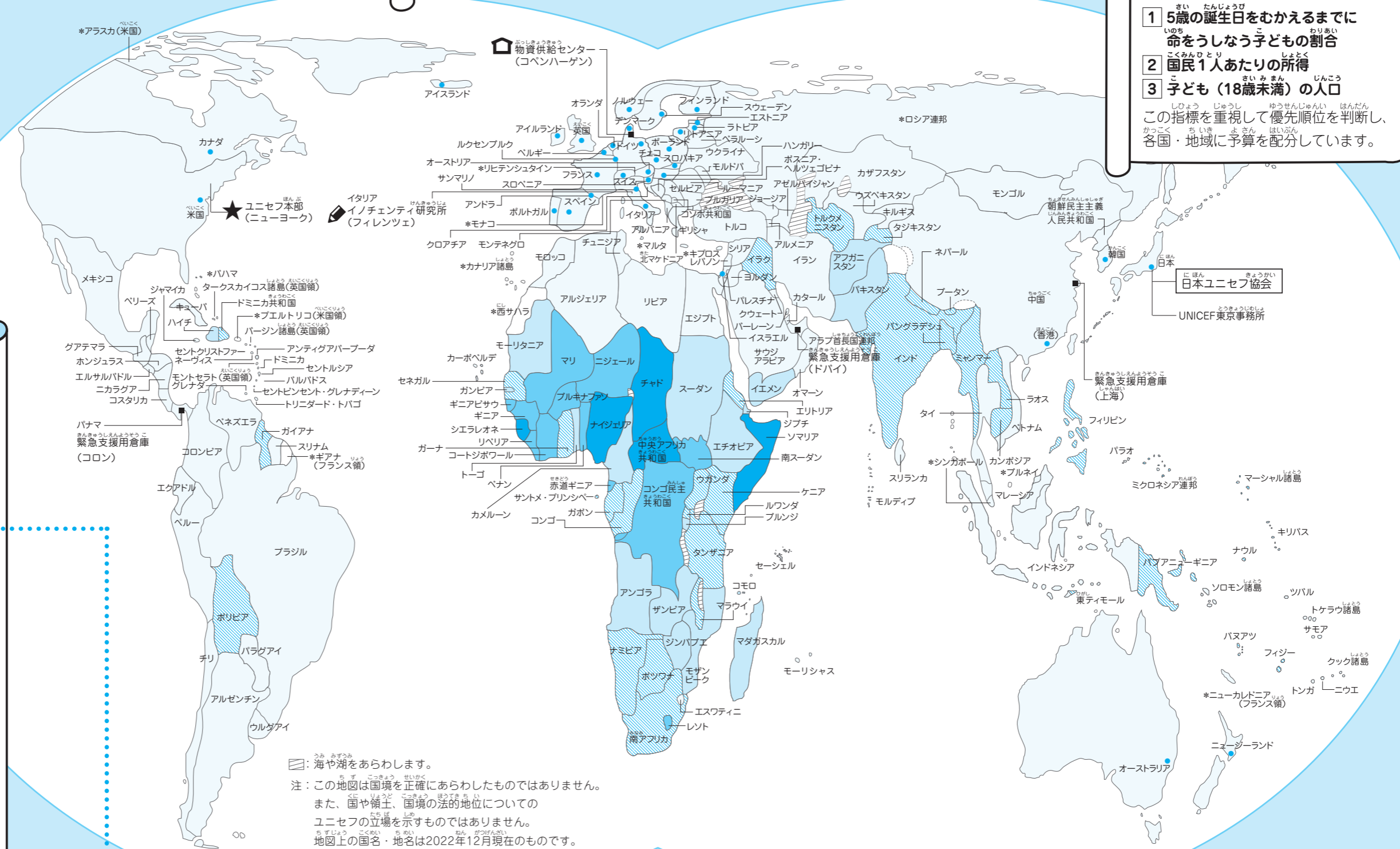


ユニセフが活動している国と地域

例: 国名(無印) ユニセフが子どものための支援活動をしている国と地域
 国名(●) ユニセフ協会が活動している国と地域
 国名(*) ユニセフとユニセフ協会が特に活動していない国と地域

※世界33の先進国・地域には、ユニセフ本部との協定により、各国において唯一、ユニセフを民間で代表するユニセフ協会がおかれています。(2022年12月現在)

世界の5歳未満児死亡率



ユニセフは、最も支援を必要としている子どもたちに支援が届けられるように、

- 5歳の誕生日をむかえるまでに命をうしなう子どもの割合
- 国民1人あたりの所得
- 子ども(18歳未満)の人口

この指標を重視して優先順位を判断し、各国・地域に予算を配分しています。

ユニセフの歴史

- 1946-第2次世界大戦(1939~1945)の後、戦争で被害を受けた子どもを助けるために国連の総会でユニセフ(United Nations International Children's Emergency Fund: 国際連合国際児童緊急基金)が生まれ、戦災国で支援活動が始まる
- 1949-日本での支援活動が始まる(粉ミルクの支給など)
- 1953-国際連合児童基金(United Nations Children's Fund)と名を改め、活動の中心を開発途上国の子どもの長期的な支援に広げる
- 1955-財団法人日本ユニセフ協会ができる
- 1959-国連で「児童の権利宣言」が採択される
- 1964-日本への支援活動が終わる
- 1965-ノーベル平和賞を受ける
- 1979-国際児童年、ユニセフへの理解と協力が広がる
- 1989-国連で「子どもの権利条約」が採択される
- 1990-「子どものための世界サミット」が開かれる
- 1994-「子どもの権利条約」を日本が批准する
- 2002-「国連子ども特別総会」が開かれる
- 2011-公益財団法人日本ユニセフ協会となる
- 2019-「子どもの権利条約」採択30周年を迎える
- 2021-ユニセフ創設75周年を迎える

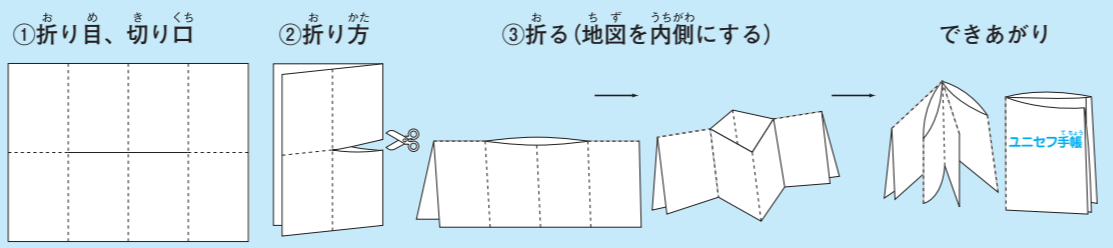
海や湖をあらわします。
 注: この地図は国境を正確にあらわしたものではありません。また、国や領土、国境の法的地位についてのユニセフの立場を示すものではありません。地図上の国名・地名は2022年12月現在のものです。

日本もユニセフに助けてもらっていたんだよ

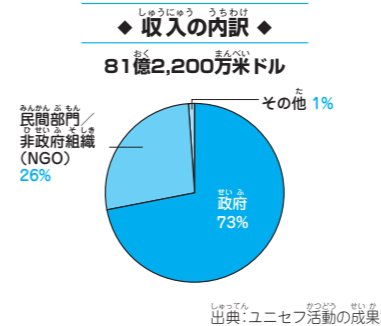
日本も、75年以上前に第2次世界大戦が終わったあと、ユニセフから、給食用の粉ミルクや、服をつくるための綿、葉などの支援をうけていました。ユニセフの支援は1949年から1964年(東京オリンピックの年)まで15年間におよび、当時のお金で65億円分にもなりました。また、東日本大震災では、ユニセフのサポートを受けながら、日本ユニセフ協会が支援活動を行いました。



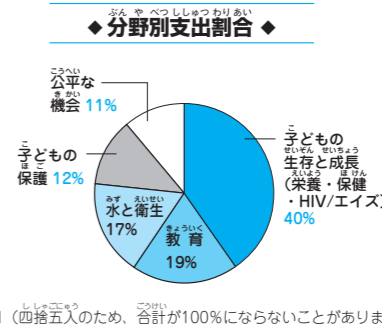
手帳の作り方



Q. ユニセフにはどれくらいのお金が集まっているの?



Q. そのお金はどんなことに使われているの?



出典:ユニセフ活動の成果2021(四捨五入のため、合計が100%にならないことがあります)

